

取 扱 説 明 書

INSTALLATION MANUAL



M8265タービンキット RB25

ARMS M8265 TURBINE KIT RB25

品番 (PART NUMBER)	173029
---------------------	--------

適合 (APPLICATION)	R33,R34,C34,C35 WC34 RB25DET搭載車
---------------------	---------------------------------

日本語 *****2p

English *****11p

- この取扱説明書を良く読んでからお使いください
- 日産自動車の発行する整備要領書と併せてお使いください
- 取り付け後も大切に保管してください
- 販売店様で取り付けをされる場合は本書を必ずお客様へお渡しください

TOMEI 製品のお買い上げありがとうございます。
ARMSシリーズタービンは、数十種類に及ぶタービンホイールの組み合わせをベンチ上や実走行等でテストを繰り返し、開発テーマであるレスポンス、フラットなトルク特性、ピークパワーをどれも犠牲にしない組み合わせを探求し完成した究極のポン付けターボです。
強化アクチュエーターを採用することで、高過給時においても安定した過給圧が得られます。
さらにガスケット類など取り付けに必要な部品をセットにし、面倒な純正部品調達の手間を省きました。

- Installation of the production is to be carried out after the instructions are carefully read.
- For further reference, compare this instruction sheet with the authentic NISSAN Motors Corporations service manual.
- After installation, keep this copy for future reference.
- Be sure to give a copy of this instruction manual to the customer.

Thank you for purchasing another quality TOMEI product.

The ultimate bolt on ARMS turbo series. After extensive testing of dozens of various combinations on the engine bench Dyno, we have finally found the best possible combination for an all round performance turbo.
Response, torque characteristics, peak power points whilst still maintaining drivability.
These are the key design points of our ARMS series turbo chargers.
With a stronger actuator our turbine will perform better at the boost levels required and keep it stable at higher levels. Our kit comes complete with the gaskets and piping required for the upgrade.

注意

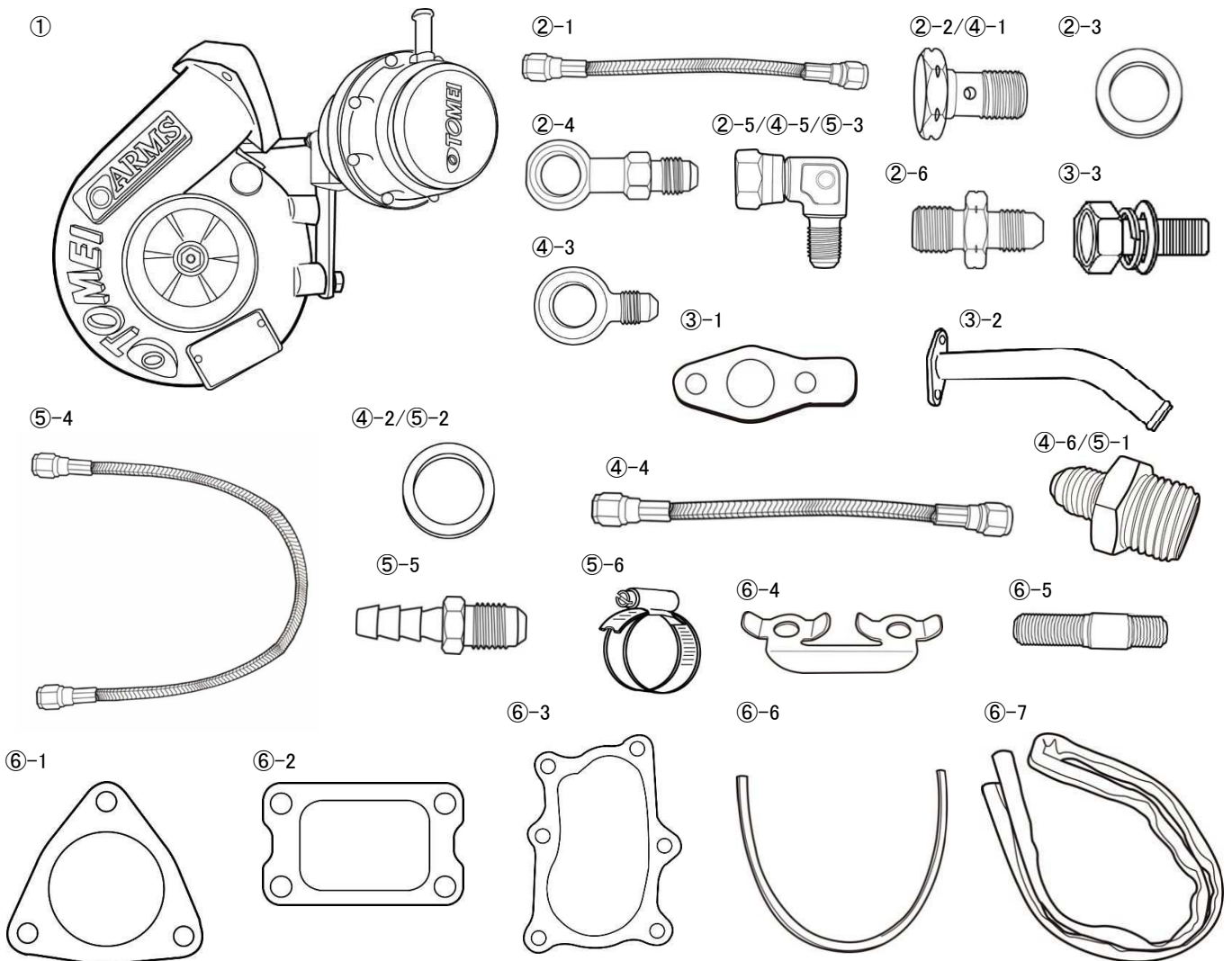
- 本書ではターボユニット脱着についてのみ記載しています。その他関連部品の分解・組み立てや、冷却水注入などの方法は 日産自動車が発行する整備要領書を参照してください。
- 本製品は自動車競技という特殊用途に用いるため、サーキットや公道から閉鎖されたコース内に限って使用してください。
- 本製品を装着する事によってエンジン出力が向上するため、サスペンションやブレーキおよびコントロールユニットなど、周辺装置においての再設定が必要になります。
本製品にはそうした部品は付属していませんので、車両にあわせて設定を行ってください。
- 本製品は指定したエンジンおよび車種以外には取り付けができません。
指定以外の取り付けは各部が適合しないため本製品およびエンジン本体を破損します。
- 本製品の取り付けにはターボユニットの取り外しと取り付けだけでなく、エアパイプや遮熱板の脱着および冷却水の抜き取り作業なども伴います。
事前に十分検討し工具などの準備や工程の確認を行ってください。
- 本製品の取り付けは特別な訓練を受けた整備士が、設備の整った作業場で実施してください。
- 取り付けの際は、適切な工具と保護具を使用しないとけがにつながる恐れがあります。
- 作業はエンジンが冷えている状態で行ってください。
エンジンが熱い状態で作業を行うと火傷の恐れがあり危険です。
- 部品の脱着の際には無理に力を加えないでください。部品を破損する恐れがあります。
- 各ボルトはトルクレンチを用いて、指定されたトルクで締め付けてください。
トルクを守らないとボルトが緩んだり、破損する恐れがあります。
- 組み付け終了後と運行前点検時に冷却水の量と接続部からの漏れの点検を必ず行ってください。
冷却水が少ない状態や漏れのある状態での走行は絶対にやめてください。
水温が異常に上がり、エンジンを破損します。
- タービンの状態を確認する為に、ブーストメーターを取り付け、併用してください。

取り付けに必要な工具類

- | | | |
|------------------------------|---------|--------|
| ・エンジン整備用工具一式 | ・トルクレンチ | ・整備要領書 |
| ・焼き付き防止剤(WAKO'S スレッドコンパウンド等) | | |

構成部品 下記の内容/数量が揃っているかを確認してください。

部位	部品名	数量	備考
①ターボチャージャーユニット		1	
②オイルフィード	1 オイルホース	1	L=160mm
	2 アイボルト(中)	1	M12-P1.25
	3 アイボルトガスケット(C)	3	ID:12mm
	4 バンジョー(中)	1	M12 L=55mm
	5 エルボー	1	
	6 オイルラインアダプター	1	M12-P1.25
③オイルリターン	1 オイルリターンチューブガスケット	1	
	2 オイルリターンチューブ	1	
	3 ボルト	2	M6-P1.0 L=16mm
④ウォーターフィード	1 アイボルト(大)	1	M14-P1.5
	2 アイボルトガスケット(D)	3	ID:14mm
	3 バンジョー(大)	1	M14
	4 ウォーターホース(A)	1	L=380mm
	5 エルボー	1	
	6 ウォーターラインアダプター	1	M14-P1.5
⑤ウォーターリターン	1 ウォーターラインアダプター	1	M14-P1.5
	2 アイボルトガスケット(D)	1	ID:14mm
	3 エルボー	1	
	4 ウォーターホース(B)	1	L=470mm
	5 ウォーターラインアウトレットアダプター	1	
	6 ホースバンド	1	
⑥ショートパーツ	1 エアアウトレットガスケット	1	
	2 エキマニ側ガスケット	1	
	3 アウトレット側ガスケット	1	
	4 ロックプレート	2	
	5 スタッドボルト	2	M8-P1.25
	6 シリコンホース	1	L=500mm
	7 ヒートプロテクトホース	1	L=1000mm



1. ノーマルタービンの取り外し

バッテリーのマイナス端子を取り外し、周辺装置およびノーマルタービンを整備要領書を参照し取り外してください。

(1) 準備作業

- ① アンダーカバーセンターを外す。
- ② クーラントを抜く。
- ③ フロントパイプ、タワーバーを取り外す。
- ④ エアフロカブラーを外し、エアクリーナーを取り外す。
- ⑤ パワーステアリングフルードタンクステーを外し、タンクを車両前方にずらす。

⚠ 注意 タンクを傾けるとフルードがこぼれる為、水平に固定をしてください。

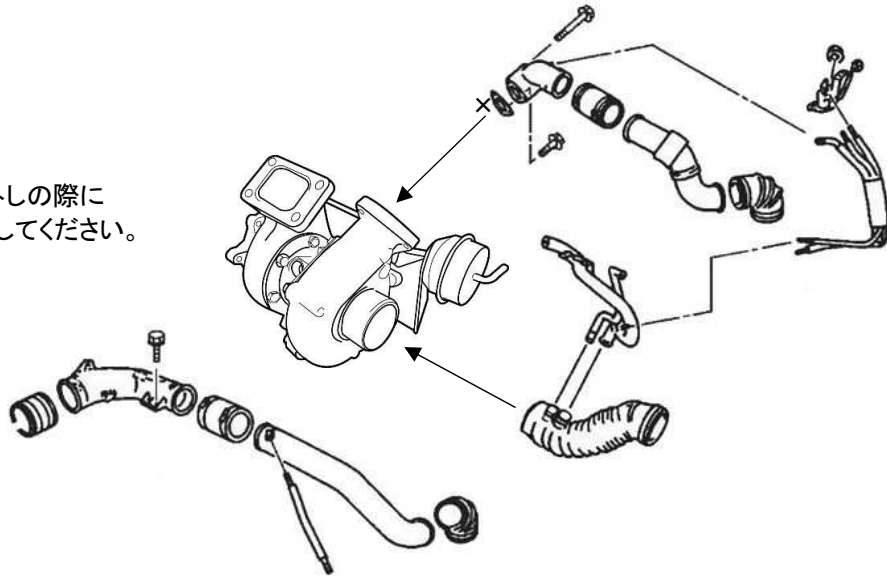
(2) 補機類の取りはずし

タービンに接続している補機類および、遮熱板やO₂センサーを取り外してください。

(×は再使用しない部品)

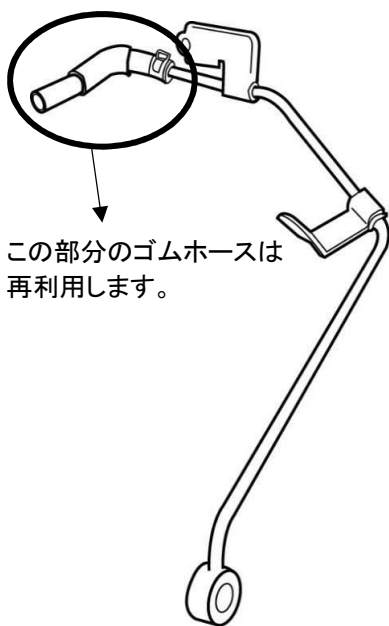
⚠ 注意

再使用する部品は取り外しの際に破損させないように注意してください。



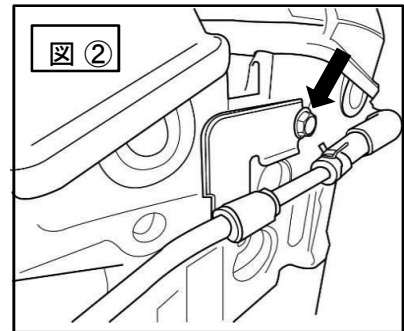
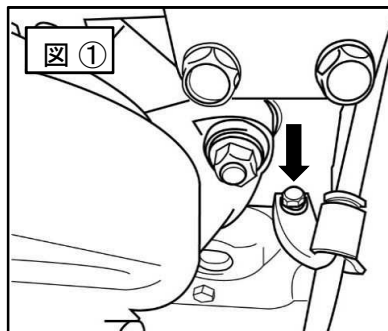
(3) タービン取り外し

ウォーターチューブおよびオイルチューブ(各フィード側、リターン側)を外し、タービンを取り外してください。



この部分のゴムホースは再利用率です。

- ① ウォーターチューブ(リターン側)を左図の状態を取り外す為、エキゾーストマニホールド横(図①)とシリンダーヘッド後ろ側(図②)で固定されているステー部分を取り外す。
- ② サージタンク横のステーを外した後、サージタンク後ろ側に接続しているゴムホースを外し、ウォーターチューブ(リターン側)を引き抜く。
- ③ ウォーターチューブ(リターン側)に使用されているゴムホースを取り外しておく。



⚠ 注意 部品を取り外した後の開口部には作業中に異物が入らないよう、テープなどで塞いでください。

2. ARMSタービンの取り付け

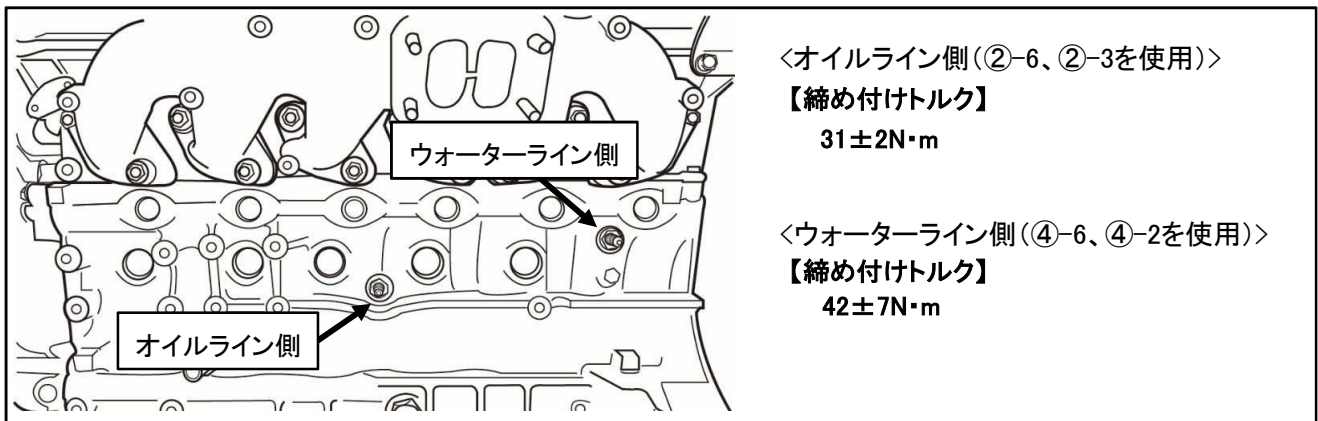
⚠ 注意

以下の作業は装着時および装着後のメンテナンスの円滑化や、使用時のトラブルを防止する為に必ず行ってください。

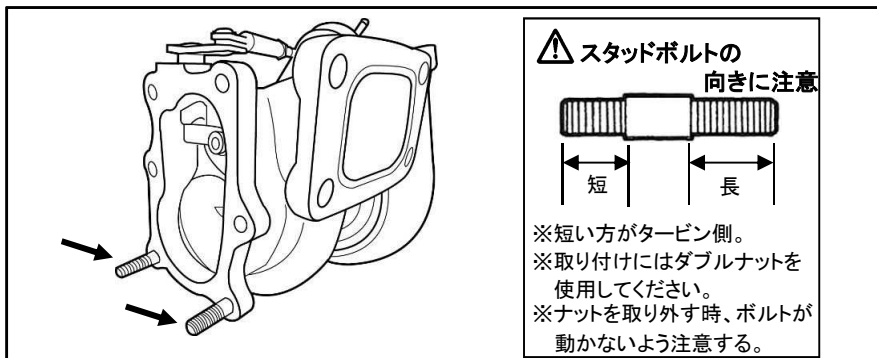
- ① 熱が加わるボルトに焼き付き防止剤を塗布する。
- ② ARMSタービンのセンターカートリッジにエンジンオイルを注入し、タービン内部にエンジンオイルを行き渡らせる。
- ② ガasket類は再使用せず、必ず付属品と交換する。

(1) 準備作業

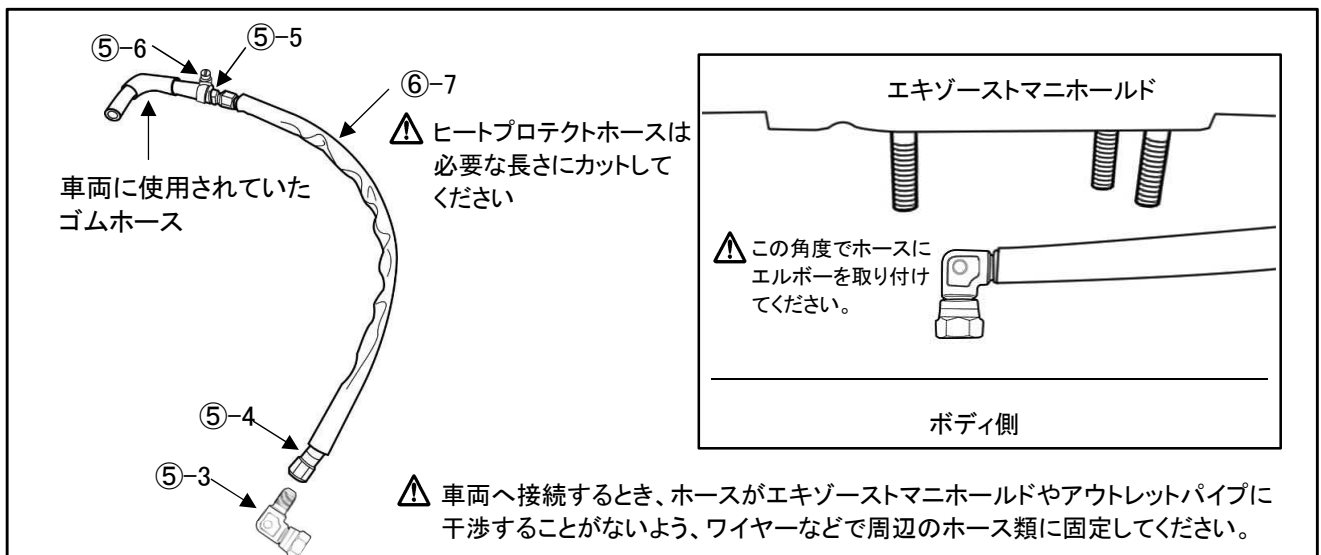
- ① エンジンブロックにオイルラインアダプター(②-6)と、ウォーターラインアダプター(④-6)をそれぞれの箇所用のアイボルトガスケット(②-3、④-2)を挟み取り付ける。



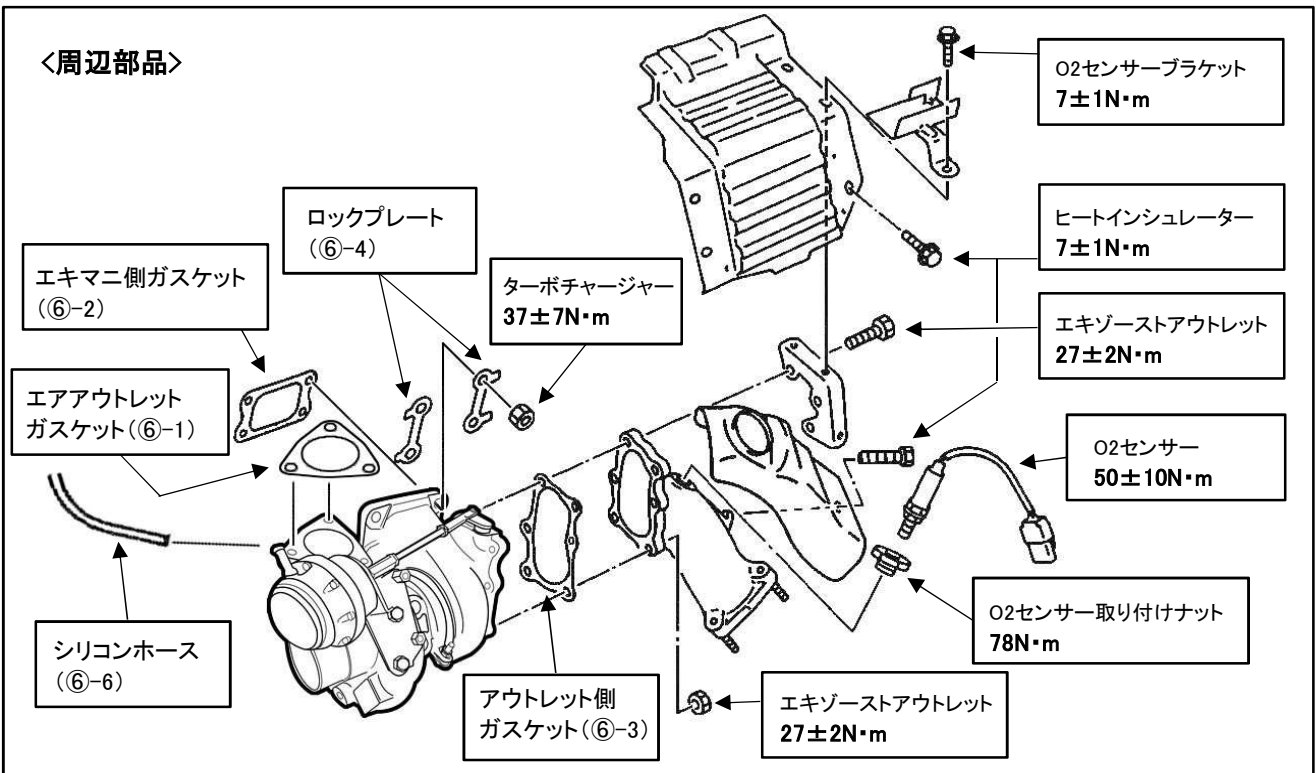
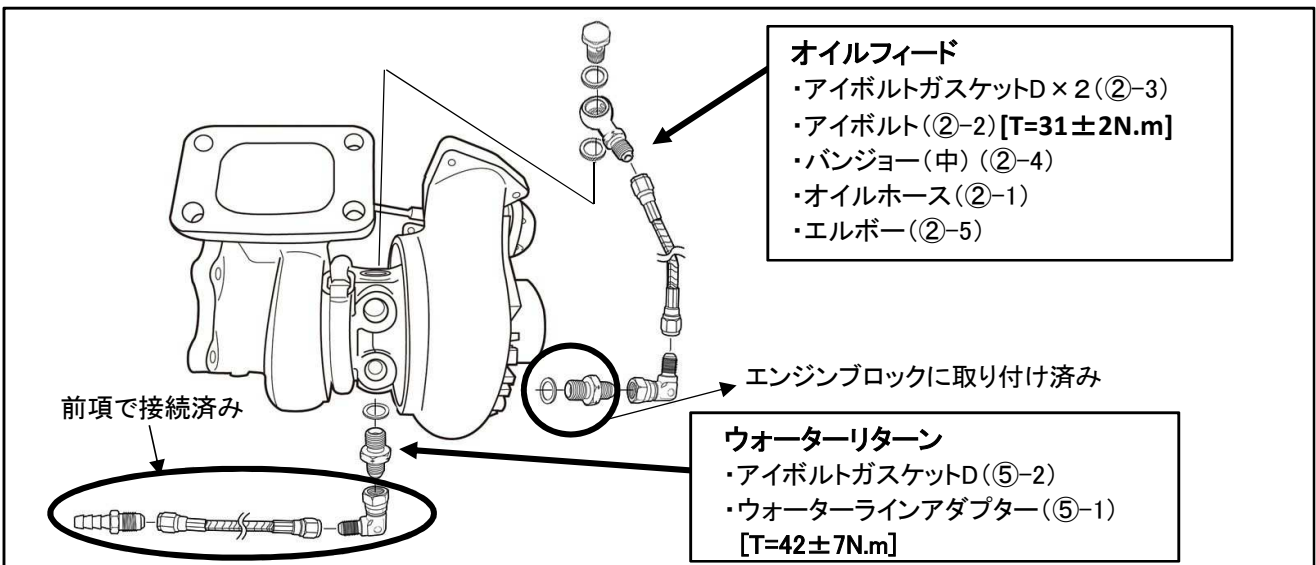
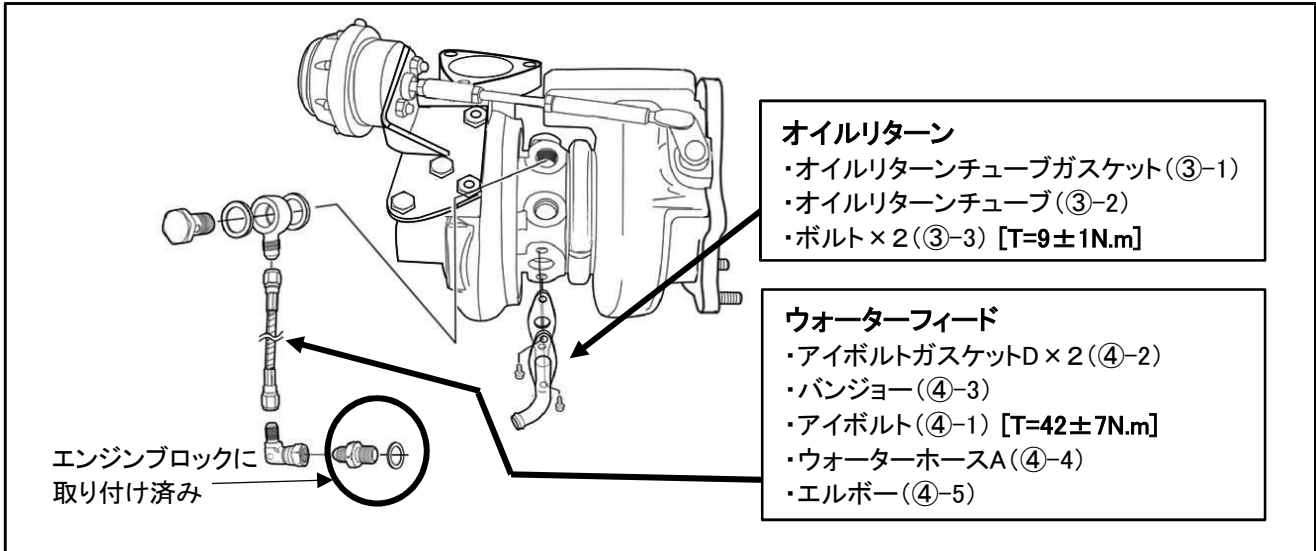
- ② ARMSタービンにスタッドボルト(⑥-5)を取り付ける。



- ② ウォーターホースB(⑤-4)にウォーターラインアウトレットアダプター(⑤-5)を取り付け、車両に使用されていたゴムホースをホースバンド(⑤-6)を使用し接続する。
この時、ウォーターホースBにはヒートプロテクトホース(⑥-7)をかぶせ、サージタンク側からシリンダーヘッド後ろ側の金具の中を通した後、ターボ側にエルボー(⑤-3)を下図の角度になるよう取り付ける。
また、ゴムホースはサージタンクに接続する。



(2) 取付箇所と締め付けトルク

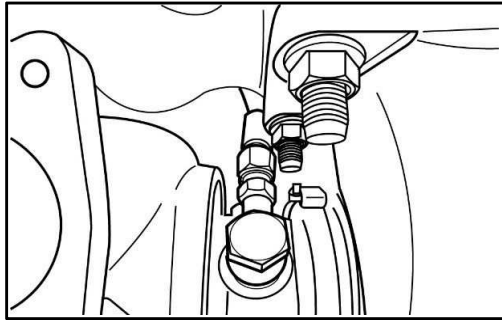


(3) タービン取り付けと各部の復帰

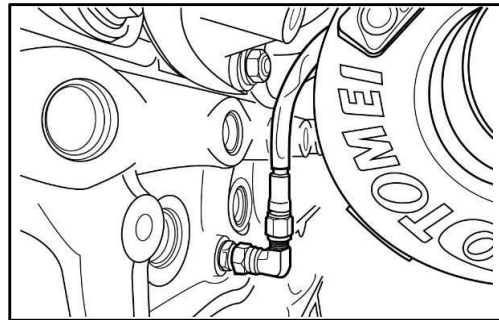
前ページで各部の部品構成およびトルクを確認し、取付を行ってください。

- ① オイルリターンチューブ(③-2)と、ウォーターラインアダプター(ウォーターリターン側 ⑤-1)を、それぞれ付属のガスケットを使用し、タービンに取り付ける。
- ② 付属のアウトレット側ガスケット(⑥-3)を使用し、遮熱板ステーを共締めしてアウトレットパイプをタービンに取り付ける。
- ③ タービンをエキゾーストマニホールドとボディの間から通し、オイルリターンチューブを車両側のホースに挿入した後、付属のエキマニ側ガスケット(⑥-2)、ロックプレート(⑥-4)を使用しタービンとエキゾーストマニホールドを接続する。ナットを締め付けた後、ロックプレートにてナットを固定する。
- ④ シリンダヘッド裏側から通していたウォーターリターンホースをタービンに接続する。
- ⑤ タービンに繋がる各ホースにヒートプロテクトホース(⑥-7)を使用し、下図のような角度で干渉がないように取り付ける。

【オイルフィード】

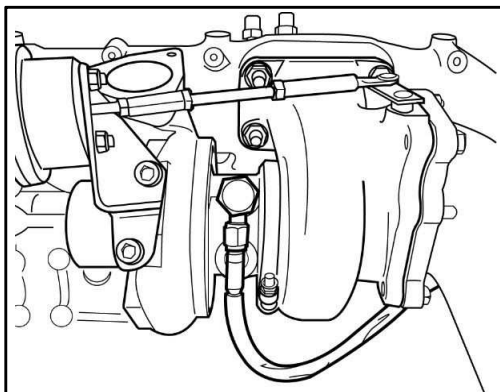


タービンにオイルフィード部分を取り付ける。

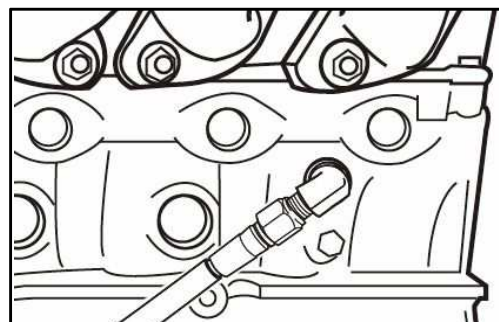


あらかじめエンジンブロック側に取り付けたオイルラインアダプターに、オイルフィードのホース類を接続する。

【ウォーターフィード】



タービンにウォーターフィード部分を取り付ける。



あらかじめエンジンブロック側に取り付けたウォーターラインアダプターにウォーターフィードのホース類を接続する。

⚠ 注意

取り付け角度と取り回しに注意して取り付けを行ってください。

3. エンジンオイル注入

エンジンオイルを規定量注入する。

4. 冷却水注入とエア抜き

⚠ ■ 冷却水はLLCを使用してください。水だけを注入するとアルミ合金にさびや腐食を引き起こす危険があります。
■ 冷却水温度が上がった状態でラジエターキャップを開けると、熱湯が噴出し危険です。

- ① ラジエターホース、ヒーターホースなどのクランプが確実に締め付けられていることを確認する。
- ② ヒーターコントロールを“MAX HOT”ポジションにセットする。
- ③ ラジエターキャップを解放する。
- ④ 2L/min(やかんで水を注ぐ程度)以下の注入速度で冷却水をクーラントタンクのキャップ口元いっぱいまで注入する。
- ⑤ ラジエターキャップを閉じてエンジンを始動し、サーモスタットが開弁するまでアイドル回転を保持する。
- ⑥ 水温計が中央を越えていることを確認し、ラジエターロアホースを手で触って温水が流れていることでサーモスタットの開弁を確認する。
- ⑦ サーモスタットの開弁を確認後、水温の上がりすぎに注意しながら、2500rpmで10秒間の空ぶかしを2、3回行う。
- ⑧ エンジンを停止する。
- ⑨ 冷機後、ラジエターキャップを外し、冷却水の液面を確認する。
液面が下がっている場合は上記作業を繰り返す。
- ⑩ 液面が下がらなくなったらリザーバータンクの“MAX”ラインまで冷却水を補充する。

5. 点検と使用上の注意

- ① ギアがニュートラルでサイドブレーキが引かれていることを確認する。
 - ② アイドリング状態で水漏れ、オイル漏れがないことを確認する。
 - ③ エンジンを停止し、冷却水とエンジンオイルの量が既定値であることを確認する。
また、リザーブタンク内に規定量の水が入っていることを確認する。
 - ④ エンジンを始動し、エンジン回転を3000rpmまで上げた時に、排気漏れや異音がしないことを確認する。
 - ⑤ 運転し、過給圧がかかることを確認する。
- ⚠** ・装着後の過給圧の調整はブーストコントローラーで行ってください。
・ブースト計を併用し、過給圧を監視してください。
- ⑥ 各部の取付状態と冷却水、オイル漏れの点検を行う。
- ⚠** ・高負荷運転の直後にエンジンを停止しないでください。
・エンジンオイルを定期的に交換してください。

セッティングガイド

項目	ノーマルエンジン	鍛造ピストン交換など
ブースト圧設定	1.0~1.2kgf/cm ² (14.2~17.1psi) ブーストコントローラー使用	1.6kgf/cm ² (22.8psi) ブーストコントローラー使用
アクチュエーター設定	必要なし	必要なし
想定馬力	約350~370ps	約450ps
インジェクター	550cc以上	550cc以上
燃料ポンプ	240ℓ/h以上(燃圧3kg/cm ² 時) 推奨:TOMEI 255ℓ/h	240ℓ/h以上(燃圧3kg/cm ² 時) 推奨:TOMEI 255ℓ/h
燃圧レギュレーター	調整式に変更が必要 推奨:TOMEI TYPE S	調整式に変更が必要 推奨:TOMEI TYPE S
プラグ	熱価アップが必要 8~9番相当	熱価アップが必要 8~9番相当
ブローオフバルブ	強化品への変更が必要 (大気解放不可)	強化品への変更が必要 (大気解放不可)
カムシャフト	ノーマル~広作用角 推奨:TOMEI PONCAM	広作用角への変更が必要 推奨:TOMEI PONCAM
エキゾーストマニホールド	ノーマル	ノーマル~大容量タイプ
アウトレット/フロントパイプ	ノーマル~大容量タイプ 推奨:TOMEI EXPREME	大容量タイプへの変更が必要 推奨:TOMEI EXPREME
マフラー	パイプ径φ80~φ90相当	パイプ径φ80~φ90相当
触媒	メタル触媒	メタル触媒
ヘッドガスケット	強化品への変更が必要 推奨:TOMEIメタルヘッドガスケット	強化品への変更が必要 推奨:TOMEIメタルヘッドガスケット
コンピューター	要現車合わせ	要現車合わせ
インタークーラー	ノーマル~大容量タイプ	大容量タイプへの変更が必要
エアクリーナー	推奨:高効率タイプ	推奨:高効率タイプ
サクシオンホース	ノーマル~大容量タイプ	大容量タイプへの変更が必要

※ このセッティングガイドはあくまでチューニングの目安となるものです。
実際のパーツ選定、セッティングは仕様・用途に合わせて進めてください。

補修部品

ARMS M8265には以下の補修部品を設定しています。

■ リプレースメントキット

品番:1741N20010

【内容】	【P3で表示されている部品番号】
・エアアウトレットガスケット	(6-1)
・ガスケット エキマニ側	(6-2)
・ガスケット アウトレット側	(6-3)
・ロックプレート	(6-4)
・スタッドボルト	(6-5)
・シリコンホース	(6-6)
・ヒートプロテクトホース	(6-7)
・オイルホース	(2-1)
・オイルラインアダプター	(2-6)
・オイルリターンチューブガスケット	(3-1)
・オイルリターンチューブ	(3-2)
・アイボルト 大	(4-1)
・アイボルト 中	(2-2/4-1)
・アイボルトガスケット C	(2-3)
・アイボルトガスケット D	(4-2/5-2)
・バンジョウ 大	(4-3)
・バンジョウ 中	(2-4)
・エルボー	(2-5/4-5/5-3)
・ウォーターホース A	(4-4)
・ウォーターホース B	(5-4)
・ウォーターラインアダプター	(4-6/5-1)
・ウォーターラインアウトレットアダプター	(5-5)
・ボルト	(3-3)

■ タービンオーバーホール

品番:34106030

CAUTION

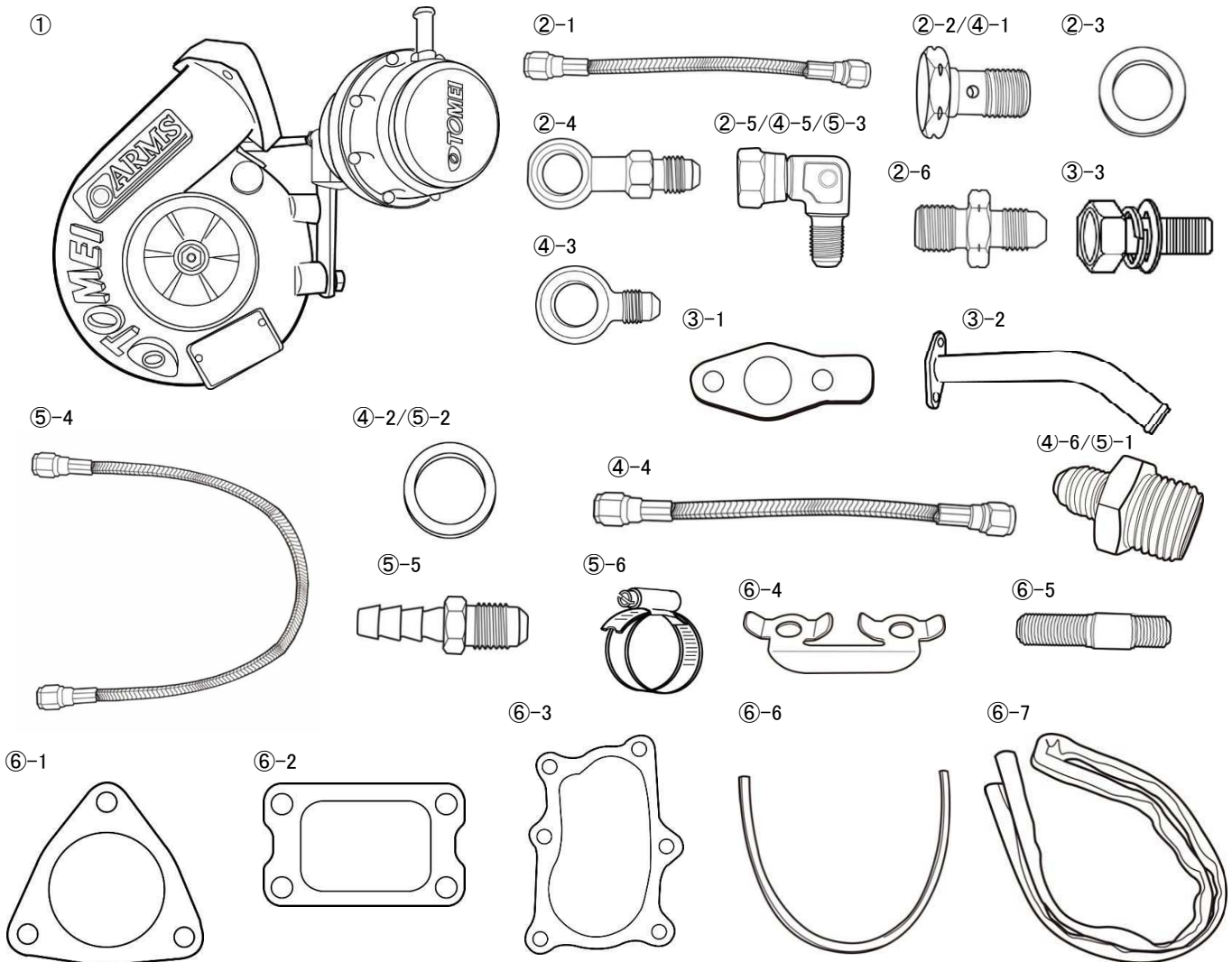
- This manual will only provide the information about this Turbo products installation process. For additional information on disassembly, assembly for other parts and the water cooling etc. please refer to the Mitsubishi service manual.
- This product is designed to be used for off road competition purposes. This product may not be road legal in your country so please check with your local authorities prior to use on general public roads.
- This product will increase your engines power output so it is necessary to address and upgrade suit your suspension and brakes to the increased power for added safety.
- This product was specifically designed for the vehicle application as stated above. This is not designed and may not be suitable for other cars/engines other than stated in this manual.
If this product/kit is installed on any other vehicles/engines it may damage this product and /or the engine /vehicle that it is fitted to.
- This installation manual simply explains the removal and installation of the turbo unit as well as the air pipe(s), heat shield and the coolant as well. Please read this manual carefully in advance to prepare all the necessary tools required for the job.
- This product is to be fitted by an experienced professional in a fully equipped workshop.
- Protective equipment may be required for the installation process so please ensure there is the appropriate safety and 1st aid equipment readily available for the installation.
- It is best to work on the car when the engine is cold as it will prevent possible burns and or injuries when the engine is hot.
- When removing and re-fitting the parts please perform the job with care. Do not use excessive force on the bolts and parts so as not to cause any damages to the parts and/or related parts.
- Please tighten each bolt with a torque wrench.
This will prevent any possible damages to the bolt and also ensure that it won't come undone.
- Prior to testing the car please check for adequate levels of coolant and any signs of leakage.
If there are signs of lack of coolant, leaks and/or rapid rising of temperature stop the car immediately so as not to risk engine damage.
- Have a boost gauge fitted to your car (if not already) to monitor the turbo via the boost levels to ensure that it is operating as normal.

REQUIRED TOOLS

•General Maintenance Tools	•Torque Wrench	•Anti seize compound	•Service Manual
----------------------------	----------------	----------------------	-----------------

KIT CONTENTS

SECTION	ITEM	QTY	NOTES
① Turbo Charger Unit		1	
② Oil Feed	1 Oil Hose	1	L=160mm
	2 Eye Bolt (Medium)	1	M12-P1.25
	3 Eye Bolt Gasket (C)	3	ID:12mm
	4 Banjo (Medium)	1	M12 L=55mm
	5 Elbow	1	
	6 Oil Line Adapter	1	M12-P1.25
③ Oil Return	1 Oil Return Tube Gasket	1	
	2 Oil Return Tube	1	
	3 Bolt	2	M6-P1.0 L=16mm
④ Water Feed	1 Eye Bolt (Large)	1	M14-P1.5
	2 Eye Bolt Gasket (D)	3	ID:14mm
	3 Banjo (Large)	1	M14
	4 Water Hose(A)	1	L=380mm
	5 Elbow	1	
	6 Water Line Adapter	1	M14-P1.5
⑤ Water Return	1 Water Line Adapter	1	M14-P1.5
	2 Eye Bolt Gasket (D)	1	ID:14mm
	3 Elbow	1	
	4 Water Hose(B)	1	L=470mm
	5 Water Line Outlet Adapter	1	
	6 Hose Band	1	
⑥ Fitting Parts	1 Air Outlet Gasket	1	
	2 Gasket (Exhaust Manifold Side)	1	
	3 Gasket (Outlet Side)	1	
	4 Lock Plate	2	
	5 Stud Bolt	2	M8-P1.25
	6 Silicon Hose	1	L=500mm
	7 Heat Shield Hose	1	L=1000mm



1. REMOVAL OF THE STANDARD TURBINE

Disconnect the battery's negative terminal and refer to the service manual for the removal of the standard turbine.

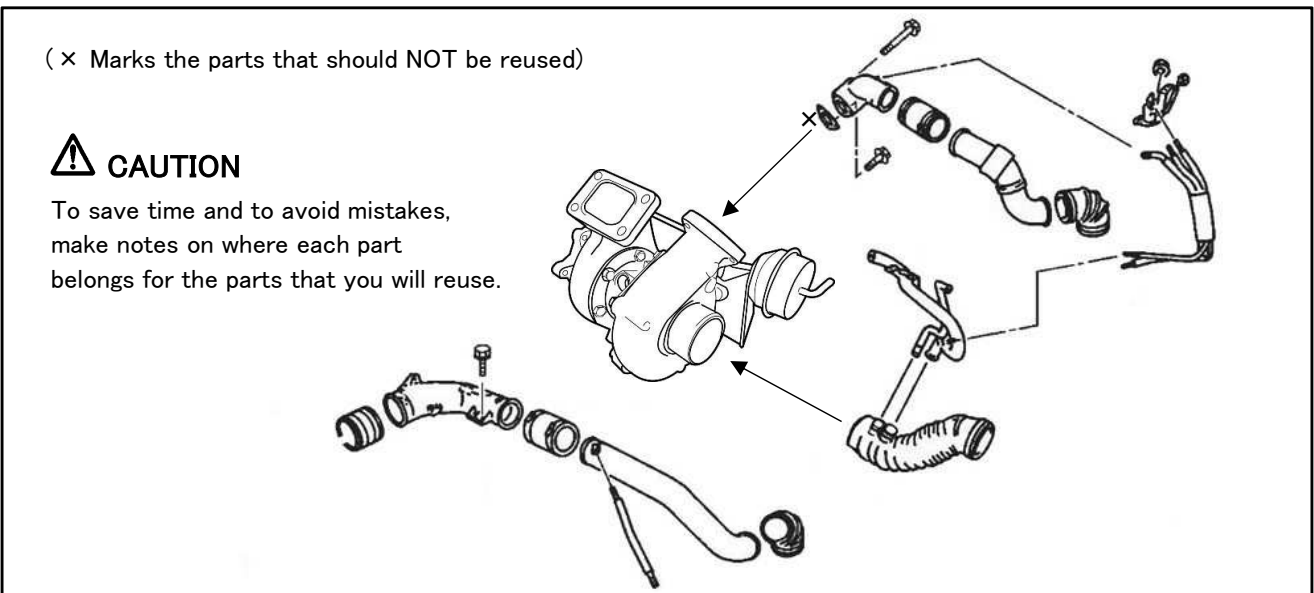
(1) Preparation

- ① Remove Under Cover (Center).
- ② Drain coolant out.
- ③ Remove Front Pipe and Strut Tower Brace.
- ④ Disconnect wire harness coupler from MAF, then remove Air Cleaner Box.
- ⑤ Disconnect Power Steering Fluid Reservoir from its bracket to let the Reservoir move forward and make a space.

⚠ Note: Keep the reservoir upright at all time so the fluid won't spill.

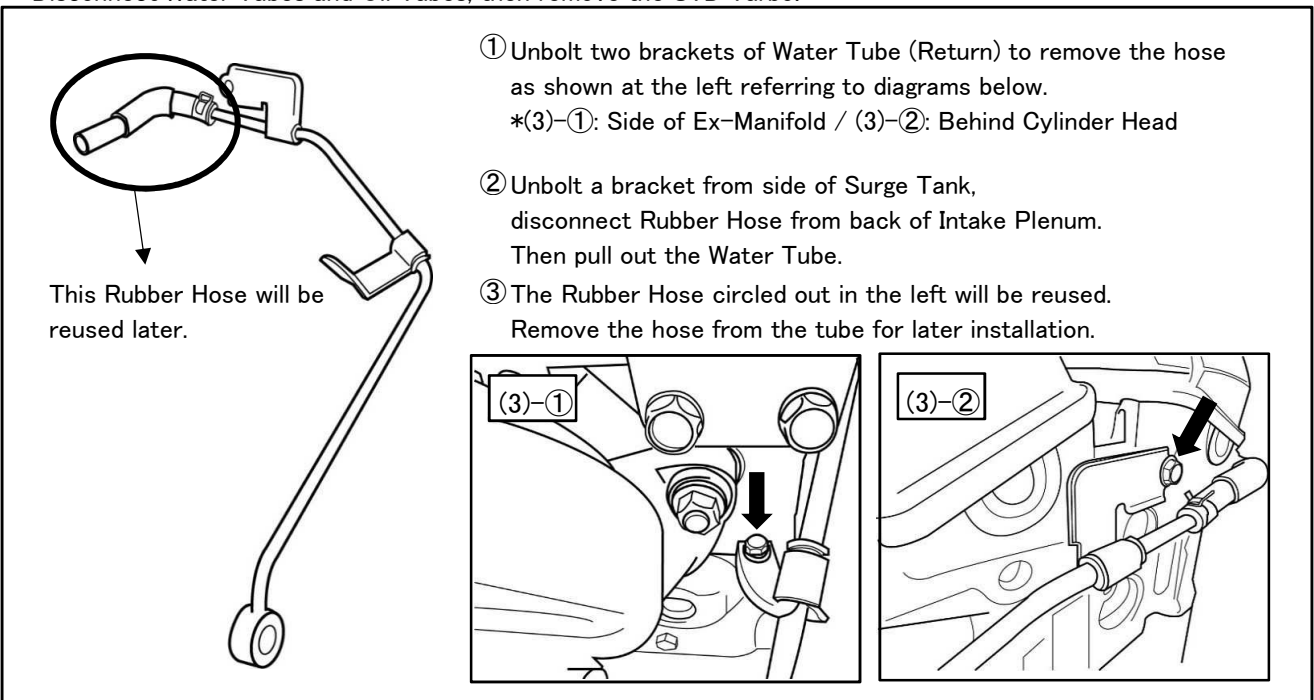
(2) Removal – Peripheral Components

Disconnect all Peripheral Components, Heat Shields and Oxygen Sensor.



(3) Removal – STD Turbo

Disconnect Water Tubes and Oil Tubes, then remove the STD Turbo.



⚠ CAUTION Tape over all the disassembled and opened pipes/hoses/turbo to ensure nothing gets into them.

2. Installation

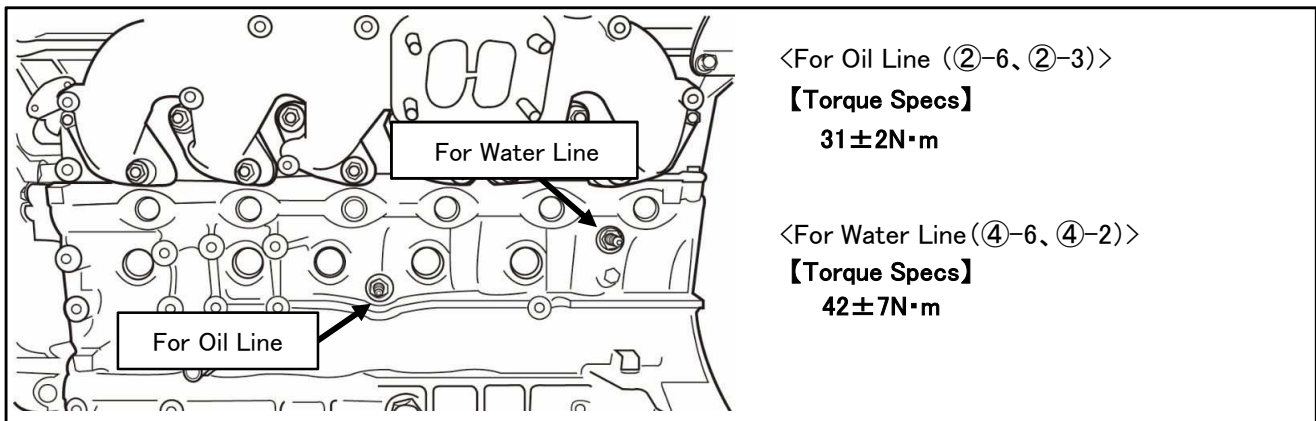
⚠ CAUTION

Following procedure must be done at installation to eliminate possible trouble and for easy maintenance in future.

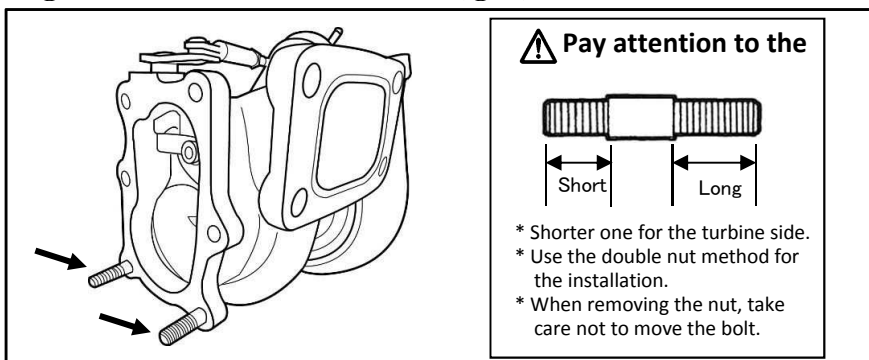
- ① Apply Anti Seize Compound onto every bolts exposed to heat.
- ② Pour Engine oil into the Center Cartridge (CHRA) of ARMS Turbo and lubricate inside ARMS Turbo.
- ② Gaskets must be replaced to kit-included gaskets. Do not reuse old ones.

(1) Preparation

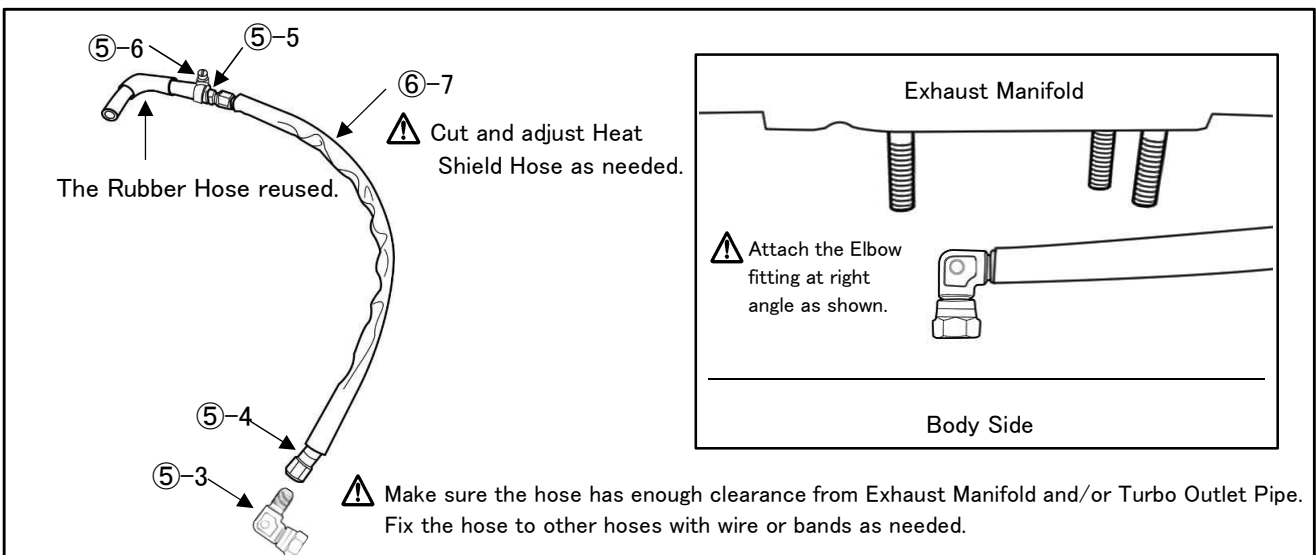
- ① Install Oil Line Adapter (②-6) and Water Line Adapter (④-6) onto Engine Block using Eye-Bolt Gaskets (②-3, ④-2).



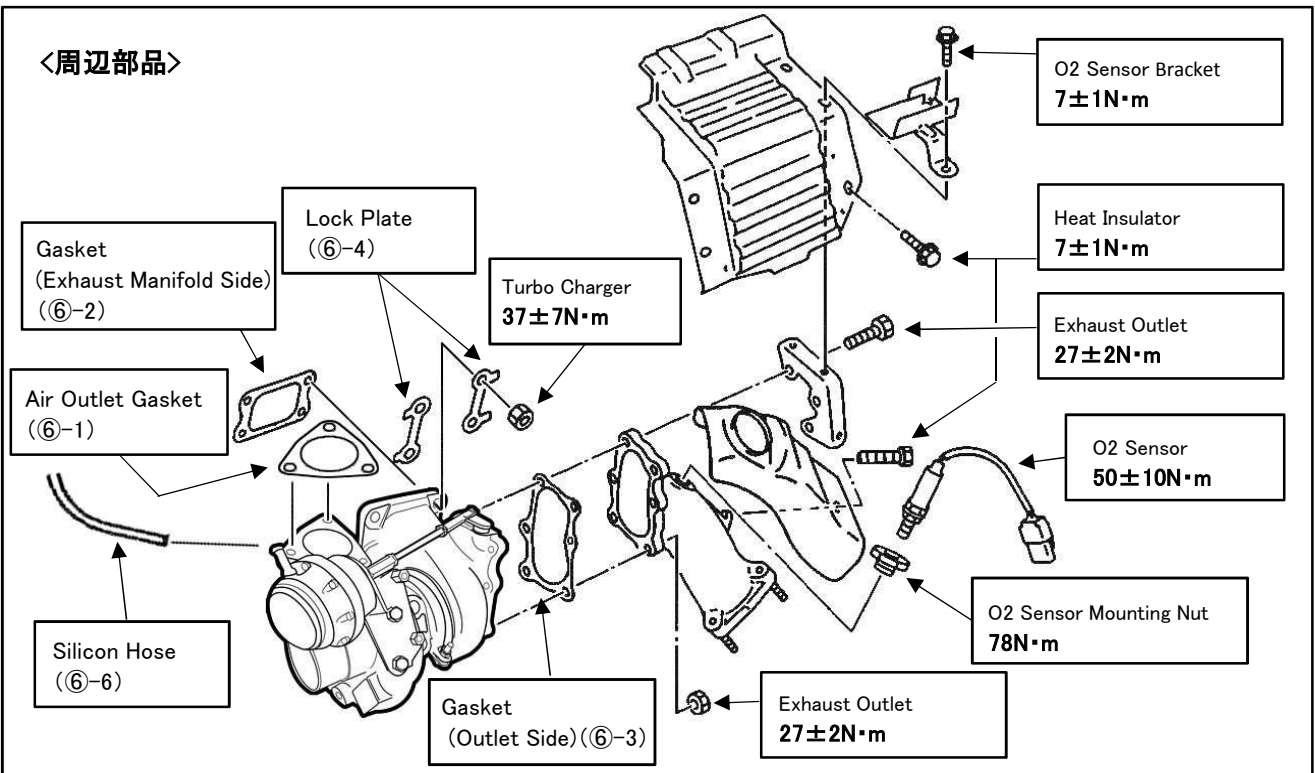
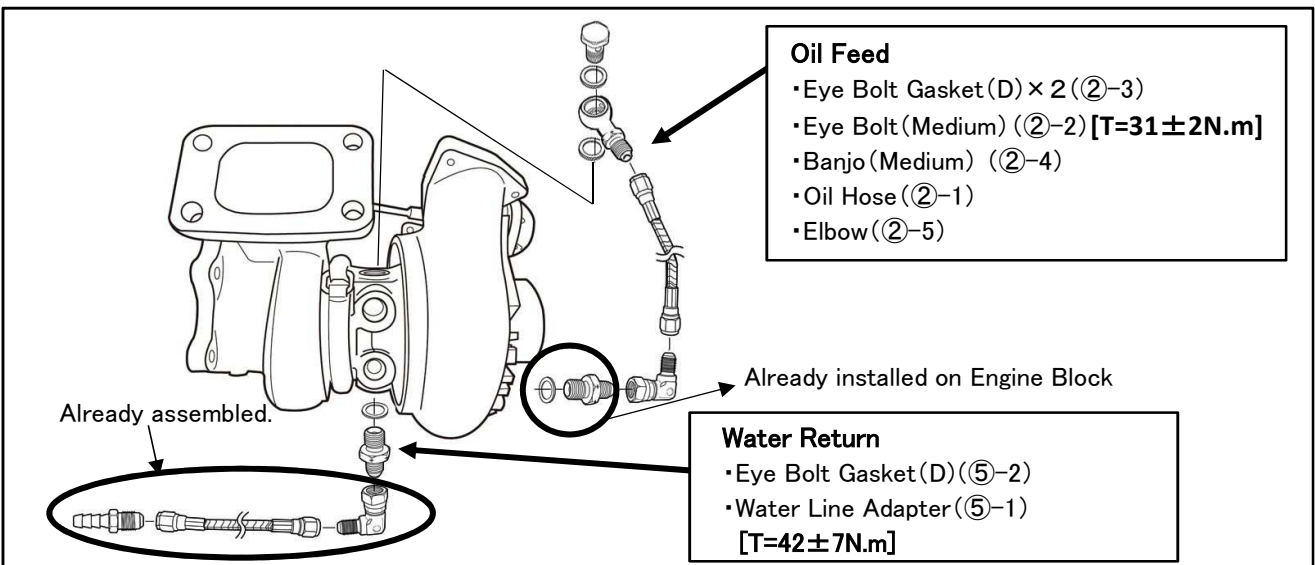
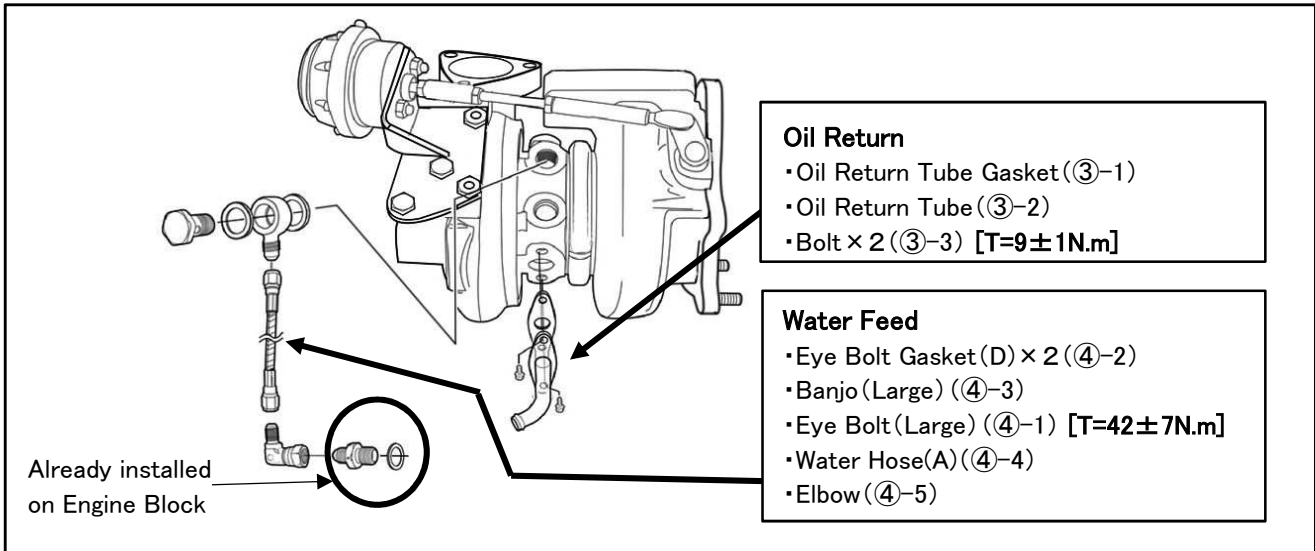
- ② Install the ARMS Turbo Stud Bolt (⑥-5).



- ② Attach Water Line Outlet Adapter (⑤-4) to Water Hose B (⑤-4) using the Rubber Hose removed from factory water tube. Secure the Rubber Hose to the Water Line Adapter (⑤-4) with Hose Band (⑤-6). Cover the Water Hose B (⑤-4) with Heat Shield Hose (⑥-7), run it through a factory bracket behind the Cylinder Head from Intake Plenum Side, then attach the Elbow fitting (⑤-3) as shown below. Connect the Rubber Hose to Surge Tank.



(2) Kit Contents & Torque Specs

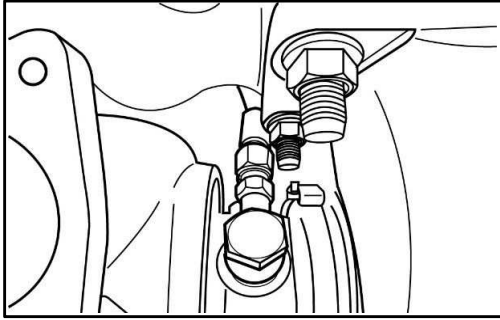


(3) ARMS Turbo Installation and Putting back Peripheral Components

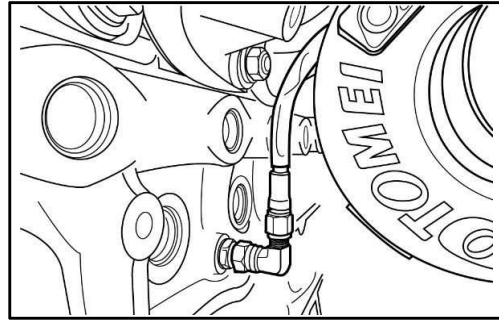
Refer to Tightening Torque Specification Diagram in the previous page in advance of installation.

- ① Connect Oil Return Tube (③-2) and Water Line Adapter (Water Return Side, ⑤-1) to ARMS Turbo using kit-included Gaskets (③-2 / ⑤-1).
- ② Mount Turbo Outlet Pipe and Heat Shield Bracket on ARMS Turbo using kit-included Gasket (⑥-3).
- ③ Get ARMS Turbo in from the space between Exhaust Manifold and Body, Connect Oil Return Tube to Vehicle-Side Hose, then mount ARMS Turbo onto Exhaust Manifold using kit-included Exhaust Manifold Gasket (⑥-2) and Lock Plate (⑥-4). After tightening the nuts with the shown torque, bend the Lock Plate towards nuts to lock them up.
- ④ Connect Water Return Hose, which runs behind Cylinder Head, to ARMS Turbo.
- ⑤ Cover each hose with Heat Shield Hose (⑥-7), then connect them right referring following diagrams.

【Oil Feed】

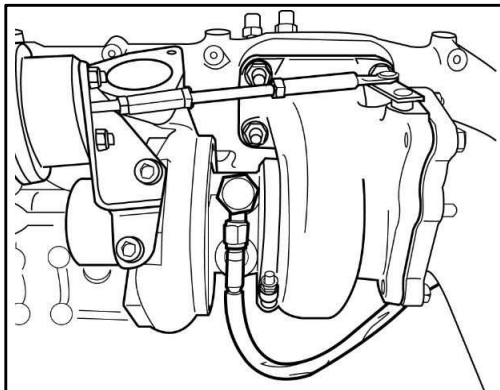


Connect Oil Feed Hose to Turbo.

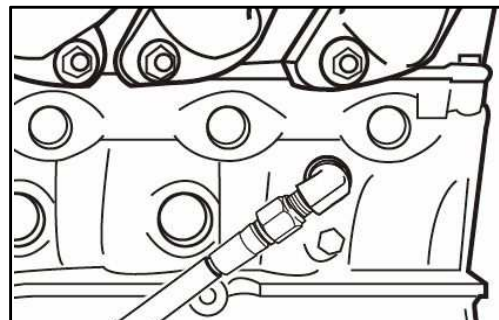


Connect Oil Feed Hose to the Oil Line Adapter which has been installed on the Engine Block.

【Water Feed】



Connect Water Feed Hose to Turbo.



Connect Water Feed Hose to the Water Line Adapter which has been installed on the Engine Block.

CAUTION

Make sure to run hoses through right place, and connect each hose at right angle referring above.

3. ENGINE OIL

Fill the engine with engine oil to the required level.

4. COOLANT & BLEEDING CHECK



■ It is best to use proper coolant LLC as normal water will help increase chances of internal rust from the radiator and engine related parts.

■ DO NOT open the radiator cap when the engine is running or while it is still hot as the water from the radiator may spray boiling hot water onto you.

- ① Check that the radiator hose clamp is securely fastened.
- ② Have the heater control set to MAX.
- ③ The radiator cap is then removed.
- ④ At approx. less than 2L/min fill the coolant tank to with coolant to bleed any air from inside.
- ⑤ Close the radiator cap and have the engine running, the thermostat will keep the coolant circulating.
- ⑥ Check the water temp gauge to see if the temperature is rising and also carefully feel the hose if there is warm water flowing through it.
- ⑦ Once the thermostat is checked and working properly, checks the water temperature to see that it is not rising abnormally fast. You can do this by holding the revs at 2,500 RPM for 10secs at a time for about 2-3 times.
- ⑧ Stop the engine.
- ⑨ After the engine has cooled down, open the radiator cap and check the coolant fluid level again to see if the coolant level has dropped or not.
If it has then you will need to repeat the above process again.
- ⑩ When the fluid is no longer receding then you can top it up to the noted limit or till you reach the max on the reservoir.

5. INSTALLATION VERIFICATION

- ① Check the E-Brake with the gear in neutral to ensure that it is working.
- ② Double check for any signs of water and oil leaks during idling.
- ③ When the engine is turned off, check the water and oil levels again to be sure that they are at the right levels. Check the amount of water that has entered the reservoir tank.
- ④ Start the engine and hold it 3,000 RPM and check for any signs of exhaust leaks and/or strange noises.
- ⑤ Do a test drive and check that the turbo is coming on boost as normal.
 - ⚠ •Please add a boost controller to adjust your settings.
 - Check your boost meter and boost controller for any abnormal signs.
- ⑥ Once again check all the parts that were installed and or replaced as well as the water and oil levels or signs of leaks.
 - ⚠ •Do not turn the engine off immediately after hard driving
 - Check engine oil periodically.

SETTING GUIDE

PARTS	STANDARD ENGINE	TUNED ENGINE (e.g. Forged Pistons)
BOOST SETTING	1.0~1.2kgf/cm ² (14.2~17.1psi) With Boost Controller	1.6kgf/cm ² (22.8psi) With Boost Controller
ACTUATOR SETTING	Not Required since a boost controller is used.	Not Required since a boost controller is used.
POWER (APPROX)	350~370PS	450PS
INJECTORS	550cc or more	550cc or more
FUEL PUMP	240L/h or more (F/Pressure 3kg/cm ²) Recommended: TOMEI 255L/h	240L/h or more (F/Pressure 3kg/cm ²) Recommended: TOMEI 255L/h
FUEL PRESSURE REGULATOR	Adjustable Regulator required. Recommended: TOMEI TYPE S	Adjustable Regulator required. Recommended: TOMEI TYPE S
PLUGS	Higher Heat Type required. Suitable Heat Range: Number 8~9	Higher Heat Type required. Suitable Heat Range: Number 8~9
BLOW OFF VALVE	Upgraded Type is required. (Must be Closed-Return type)	Upgraded Type is required. (Must be Closed-Return type)
CAMSHAFTS	STD ~ High Flow Type (Preferable) Recommended: TOMEI PONCAM	Larger Cam Duration is required. Recommended: TOMEI PONCAM
EXHAUST MANIFOLDS	STD	STD ~ High Flow Type (Preferable)
OUTLET/ FRONT PIPE	STD ~ High Flow Type Recommended: TOMEI EXPREME	High Flow Type is required. Recommended: TOMEI EXPREME
MUFFLER	High Flow Type is required. Recommended Main Pipe : 80~90mm	High Flow Type is required. Recommended Main Pipe : 80~90mm
CATALYTIC CONVERTER	High Flow Type is required. Recommended: Sport Cat	High Flow Type is required. Recommended: Sport Cat
HEAD GASKET	Upgraded Type is required. Recommended: TOMEI Metal Gasket	Upgraded Type is required. Recommended: TOMEI Metal Gasket
ENGINE MANAGEMENT	ECU Resetting is required.	ECU Resetting is required.
INTERCOOLER	STD ~ Upgraded Type	Upgraded Type is required.
AIR CLEANER	Recommended: High Flow Type	Recommended: High Flow Type
SUCTION HOSE	STD ~ High Flow Type	High Flow Type is required.

※ This chart is to be used as a rough guide only and it is the most popular street car setup in Japan.
You don't have to use the same setup but careful planning is best for a balanced setup to suit your needs.

REPLACEMENT PARTS

Replacement/Repair parts for ARMS M8265 are available as below.

■ REPLACEMENT KIT

P/N: 1741N20010

【Contents】	【Number shown in P3】
• Air Outlet Gasket	(6-1)
• Gasket (Exhaust Manifold Side)	(6-2)
• Gasket (Outlet Side)	(6-3)
• Lock Plate	(6-4)
• Stud Bolt	(6-5)
• Silicon Hose	(6-6)
• Heat Sheild Hose	(6-7)
• Oil Hose	(2-1)
• Oil Line Adapter	(2-6)
• Oil Return Tube Gasket	(3-1)
• Oil Return Tube	(3-2)
• Eye Bolt (Large)	(4-1)
• Eye Bolt (Medium)	(2-2/4-1)
• Eye Bolt Gasket (C)	(2-3)
• Eye Bolt Gasket (D)	(4-2/5-2)
• Banjo (Large)	(4-3)
• Banjo (Medium)	(2-4)
• Elbow	(2-5/4-5/5-3)
• Water Hose(A)	(4-4)
• Water Hose(B)	(5-4)
• Water Line Adapter	(4-6/5-1)
• Water Line Outlet Adapter	(5-5)
• Bolt	(3-3)

■ Overhaul Service

P/N: 34106030

TOMEI POWERED INC.
株式会社 東名パワード

〒194-0004 東京都町田市鶴間5-4-27

TEL : 042-795-8411 (代)

FAX : 042-799-7851

<http://www.tomei-p.co.jp>

この製品に関わる取り付け、操作上のご相談は上記へお願いします。

営業時間: 月~金 (祝祭日、年末年始を除く) 9:00~18:00

If you have any questions in regards to the installation of this product,
please contact your local authorized Tomei Powered distributor.

OPEN: Monday - Friday (National holidays and public holidays excluded). 09:00 - 18:00

M8265タービンキット RB25 取扱説明書 2016年7月 M17K09-1
ARMS M8265 TURBINE KIT RB25 INSTALLATION MANUAL 2016.07 M17K09-1